

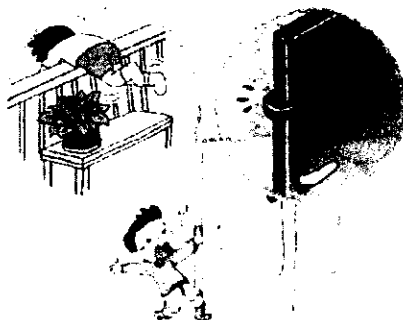
子供の事故防止

東京消防庁管内では、5歳以下の子供(乳幼児)の日常生活の事故による救急搬送が増えています！

子供に多い事故を知り、予防対策をしましょう。特に、多い事故は「ころぶ」事故、「落ちる」事故です。また、5才以下の子供には中等症以上の割合が高い窒息・溺水など、身近で起きる事故も多く発生しています。

対策をしましょう！

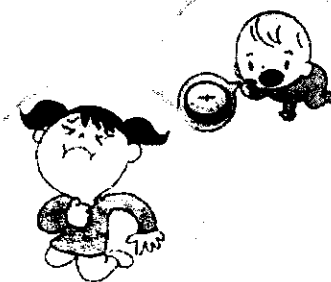
転倒・転落



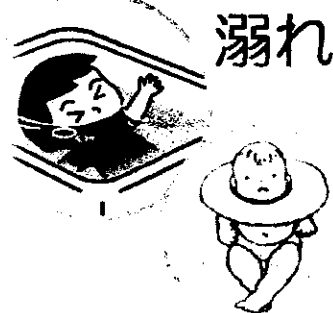
- 窓際やベランダには、子どもが登れるものを置かない。
- ドアの開閉時は子どもがどこにいるか確認する。
- エレベーターやエスカレーター付近では遊ばせない。

- 家の中では、子供の目の高さに誤飲する危険があるものがないかチェックする。
- 乳幼児はトイレトーパーの芯(39mm)を通る大きさの物は口の中に飲み込む危険性があります。
- 喉に詰まりそうなものは小さく切って食べさせる。

窒息・誤飲



溺れ



- 乳幼児をお風呂や水遊びをさせているときは、決して目を離さない。
- 子どもだけで浴室に入れない。
- 首掛け式浮き輪での事故にも注意。